

パーソナルオーディオ ドッキングシステム

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、

火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



©2012 Sony Corporation Printed in China

RDP-NWM7

品名 パーソナルオーディオドッキングシステム

型名 RDP-NWM7

保証書 T02-1

ここに保証書があります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保証書完成菲林。

在此位置插入保証書以完成胶片。

よくあるお問い合わせ窓口受付時間などは <http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020
携帯電話・PHS一部のIP電話 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS一部のIP電話 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

⚠️ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る
この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、ACアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしなったり、キャビネットやACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- 1 電源を切る
- 2 ACアダプターをコンセントから抜く
- 3 お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠️ 警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災 感電
行為を禁止する記号
禁止 分解禁止 ぬれ手禁止 接触禁止

行為を指示する記号
スラグをコンセントから抜く 指示

自然放熱を妨げない
布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本箱や組み込み式キャビネットのような通気妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止
ぬれ手禁止

安定した場所に置く
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となります。

⚠️ 警告
火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因となります。

ACアダプターは抜き差ししやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源を切つただけでは、完全に電源から切り離せません。

⚠️ 警告
左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「309」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へおつなぎします。

禁止

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。本機の上に、例え火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

安全のための注意事項を守る
この「安全のために」をよくお読みください。

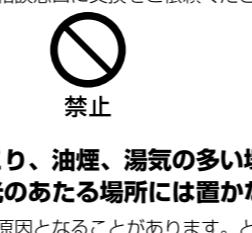
定期的に点検する

1年に1度は、ACアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしなったり、キャビネットやACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



禁止

温湿度やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに、風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

長時間使用しないときはACアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。

禁止

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

本機やACアダプターに触ると感電の原因となります。

禁止

お手入れの際、ACアダプターを抜く

ACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

禁止

スラグをコンセントから抜く

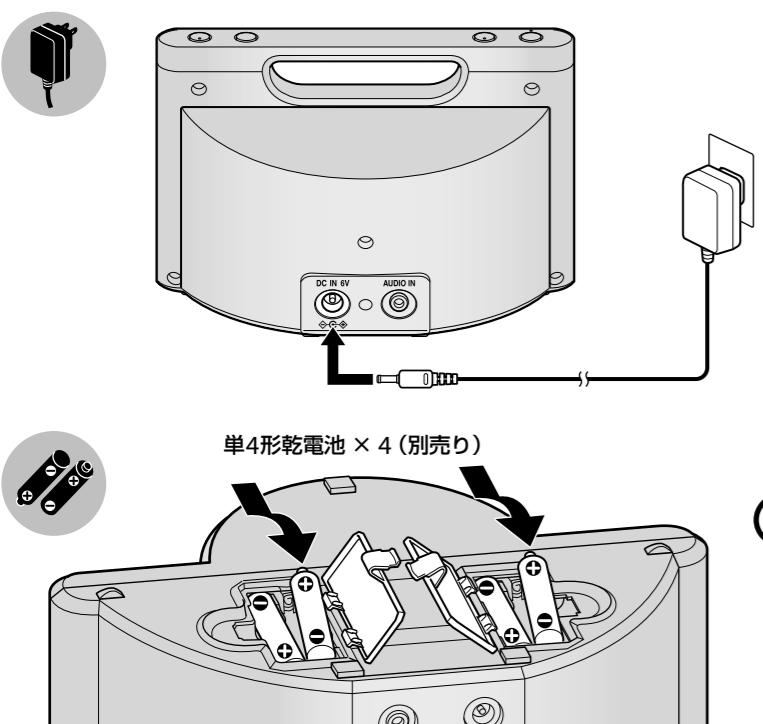
お手入れの際、ACアダプターを抜く

禁止

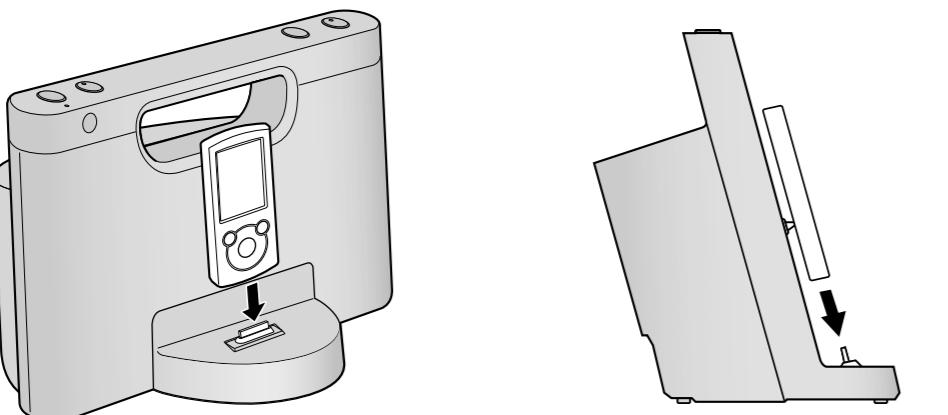
お手入れの際、ACアダプターを抜く

スタートアップガイド

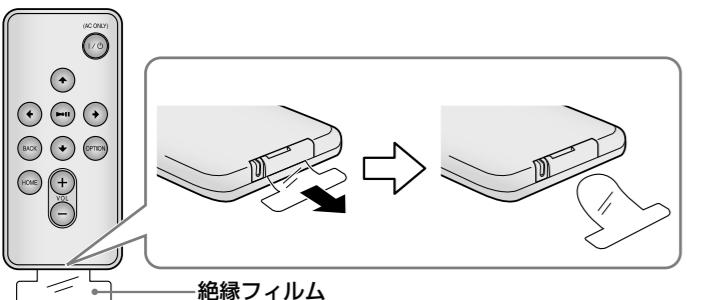
1



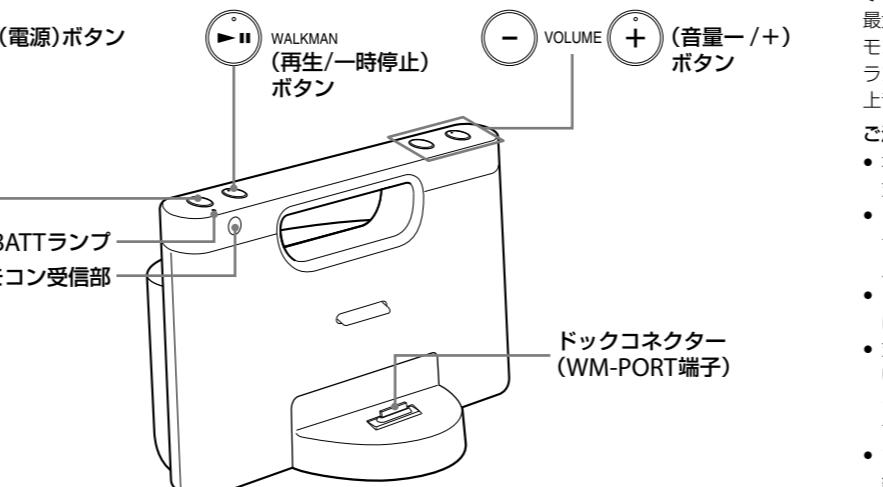
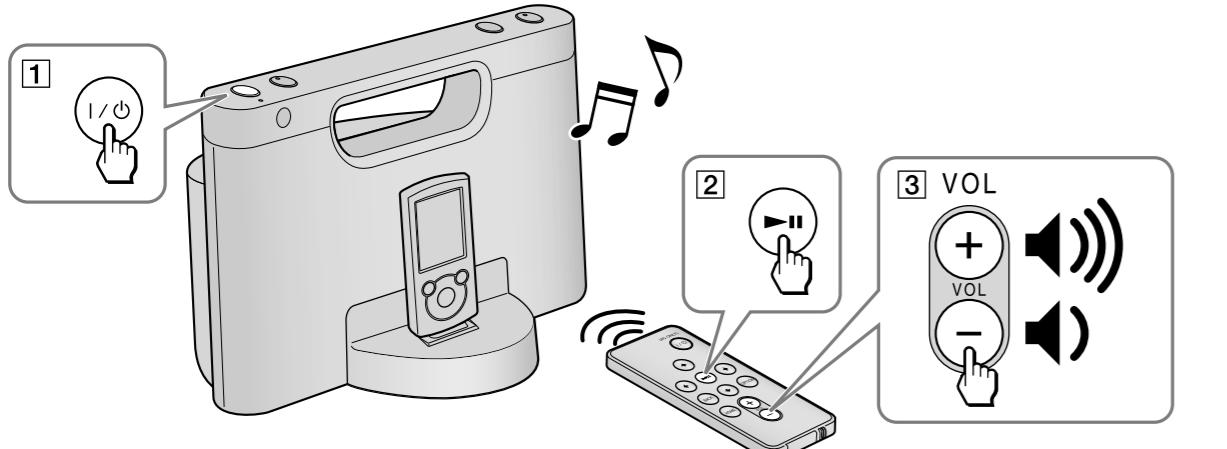
2



3



4



VOLUME + と ▶/II ボタンに凸部(突起)がついています。

“ウォークマン”的取り扱いについて

- この製品には、付属のACアダプターをご使用ください。付属以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

乾電池を交換する時期

電池残量が少なくなるとOPR/BATTランプが暗くなり、音が歪むことがあります。

電池に関するご注意

- マンガン電池は使用できません。
- いかなる電池も本機で充電できません。
- 電池を交換するときはすべて新しいものと交換してください。
- 電池性能はメーカーや電池の種類によって異なることがあります。特に温度が低いところでの使用において、電池持続時間が測定値より少ない場合があります。
- 電池を入れるときは+と-を確かめてください。
- 長い間ご使用にならないときは電池を取り出してください。過度の放電や液もれを防ぎます。
- 同一タイプの電池をお使いください。
- 乾電池でご使用の場合はリモコンでの電源操作ができません。

“ウォークマン”を本機で充電するには(ACアダプター接続時のみ)

ACアダプターをコンセントにつなぎ、本機に“ウォークマン”を装着してください。充電が自動的に開始します。充電の状態は“ウォークマン”本体に表示されます。詳しくは、お使いの“ウォークマン”的取扱説明書をご覧ください。

ご注意

ACアダプターを本機とコンセントに接続しているときは、本機の電源が入っている場合、または入っていない場合にも充電されます。

ご注意

- 安定した装着を確保するために、“ウォークマン”的ケースやカバーをはずしてドックコネクターに装着してください。
- 本機に“ウォークマン”を装着するときは、“ウォークマン”的アタッチメントをつけないでください。
- “ウォークマン”的装着および取りはずし時は、本機のドックコネクターと同じ角度で“ウォークマン”を抜き差してください。“ウォークマン”を前後に倒して無理に取りはずすとするとドックコネクターが破損する恐れがあります。
- “ウォークマン”的抜き差しは“ウォークマン”本体のボタンのないところを持って行ってください。
- “ウォークマン”を取りはずす前に再生を一時停止してください。
- “ウォークマン”を装着したまま本機を持ち運ばないでください。

電源を準備する

電源管理システム

“ウォークマン”(またはAUDIO INジャックに接続された機器)の再生が停止してから約20分間何も操作しないと、本機の電源は自動的に切れます。

ACアダプターを使う

付属のACアダプターを本機背面のDC IN 6Vジャックに差し込んでから、コンセントに差し込む。

ACアダプターに関するご注意

- 乾電池で本機をお使いになるときは、ACアダプターをコンセントとDC IN 6Vジャックから抜いてください。使用前に外部電源との接続が切断されているか確認してください。

ちょっと一言

最大または最小音量時にVOLUME +/- (またはリモコンのVOL +/-)ボタンを押すと、OPR/BATTランプが3回点滅します。この場合には、これ以上音量が大きくなる(または小さくなる)なりません。

ご注意

- 本機は“ウォークマン”的音声再生機能にのみ対応しています。
- “ウォークマン”は電源を入れないと動作しません。操作する前に“ウォークマン”的電源を入れてください。
- “ウォークマン”的装着および取りはずし時は、本機をしっかりと押さえてください。
- 対応以外の“ウォークマン”を本機に装着しないでください。本機で対応していない“ウォークマン”的使用した際の動作は保証しておりません。
- ソニーは本機に装着した“ウォークマン”的記録されたデータの破壊や損失について、責任を負いません。
- 対応している“ウォークマン”でも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。

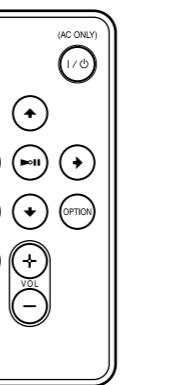
- ご使用の“ウォークマン”によっては、ダイナミックノーマライザ、イコライザ、VPT、DSEE、スピーカー出力最適化などがオプションまたは調整されている場合がありますので、オフにしてください。

お使いの“ウォークマン”によっては、“ウォークマン”的起動時にスピーカーからノイズが出ることがあります。故障ではありません。

- “ウォークマン”的装着中は、“ウォークマン”的ヘッドホンからは音は出ません。
- ラジオまたはTVチューナーを内蔵した機器を接続した場合、ラジオやTV放送の受信が出来なかったり、感度が大幅に低下する場合があります。

リモコンを使う

初めて付属のリモコンをお使いになるときは、絶縁フィルムを取り除いてください。本機正面のリモコン受信部に付属のリモコンを向けてください。リモコンからの受信時には、OPR/BATTランプが点滅します。



VOL + と ▶/II ボタンに凸部(突起)がついています。

I/O (電源)ボタン

- 電源を入／切する。電源が入るとI/Oランプ(緑色)が点灯する。
- 乾電池使用時は、本機のI/Oボタンを押して電源を入れてください。リモコンのI/Oボタンは、ACアダプター使用時のみ本機の電源を入れることができます。

▶/II (再生／一時停止)ボタン

- “ウォークマン”を再生する。または再生中の“ウォークマン”を一時停止する。
- メニューを決定する。*

♦ (早送り)ボタン

- 次の曲へ進む。
- 再生中に長く押して、曲の聞きたい部分をさがす。
- メニュー項目を選ぶ。*

♦ (早戻し)ボタン

- 前の曲に戻る。再生中に押すと、再生している曲の頭に戻る。前の曲に戻るには、ボタンを2回押す。
- 再生中に長く押して、曲の聞きたい部分をさがす。
- メニュー項目を選ぶ。*

♦ (ダウン)ボタン

- 次の曲の頭に戻る。
- 次の曲へ進む。
- 再生中に長く押して、曲の聞きたい部分をさがす。
- メニュー項目を選ぶ。*

再生中に一時停止するには

▶/II ボタンを押す。

▲(アップ)ボタン

- 前のフォルダーに戻る。再生中に押すと、再生しているフォルダーの先頭の曲に戻る。再生中に前のフォルダーに戻るには、ボタンを2回押す。
- メニュー項目を選ぶ。*

BACKボタン*

- “ウォークマン”的表示窓でリスト画面の階層を上へ戻したり、前の画面に戻ります。

OPTIONボタン*

- “ウォークマン”的表示窓にオプションメニューを表示する。

HOMEボタン*

- ホームメニューに戻る。

VOL(音量)+/-ボタン

- 音量を調節する。

* 対応する“ウォークマン”は、NW-S760/S760BT/S760K/E60/E60Kシリーズです。(2012年2月現在)その他の機種には対応していません。

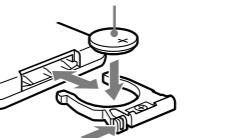
ご注意

お使いの“ウォークマン”によっては、リモコンのOPTION、HOME、BACKボタンでの操作はできません。

リチウム電池を交換するときは

リモコンに入っているリチウム電池は、通常の使用では約6ヶ月持続します。電池が消耗すると、リモコンは正常に動作しなくなったり、リモコンの動作距離が短くなったりします。その場合は、新しいソニー製リチウム電池CR2025と交換してください。

+側を上にして入れる



電池に関する警告

- 長い間ご使用にならないときは電池を取り出してください。過度の放電や液もれを防ぎます。

リチウム電池に関するご注意

- 使いきった電池はすぐに廃棄してください。電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、電池を乾いた布でよく拭いてください。
- 電池を入れるときは+と-を確かめてください。
- ビンセットなどの金属類と電池と一緒に携帯・保管しないでください。電池の+と-が金属類とつながるとショートし、発熱することがあります。
- 直射日光や火の近くなど、温度の高いところに電池を置かないでください。

△警告

電池の+と-の向きをまちがえて入れると破裂する恐れがあります。内蔵の電池と同一タイプの電池をお使いください。

別売りの外部機器をつなぐ

携帯デジタルミュージックプレーヤーなどの外部機器を本機に接続して、スピーカーから流れる音を楽しむことができます。接続する前にすべての機器の電源を切ってください。

- 本機背面のAUDIO INジャックと外部機器をオーディオケーブル(別売り)でしっかりと接続する。

- I/Oボタンを押して、本機の電源を入れる。

- 本機に接続した外部機器の電源を入れる。

- 外部機器を操作して再生する。

- 音量を調節する。

外部機器を適切な音量にし、本機のVOLUME +/- (またはリモコンのVOL +/-)ボタンを押して調節します。

ご注意

- 使用するオーディオケーブルは、外部機器によって異なります。接続する外部機器に適したケーブルを使用してください。

- 音量が小さい場合はまず外部機器の音量調節をしてください。それでも小さい場合には本機の音量を調節してください。
- ラジオまたはTVチューナーを内蔵した機器を接続した場合、ラジオやTV放送の受信が出来なかったり、感度が大幅に低下する場合があります。
- AUDIO INジャックに接続された外部機器を楽しむときは、“ウォークマン”的再生を停止してください。
- 外部機器を使用しないときは、AUDIO INジャックからオーディオケーブルを取りはずしてください。